

# 加齢関連慢性炎症疾患の悪化を担う筋線維芽細胞の細胞老化機構の解明とその治療応用 (仲矢道雄/九州大学)

## 背景

ヒトは加齢に伴って、心肥大や肺線維症、非アルコール性脂肪肝炎、慢性腎不全等、様々な慢性炎症性疾患を発症しやすくなる。そしてそれら加齢関連慢性炎症疾患を呈する組織において認められる病態が線維化である。

線維化を実行するのは、コラーゲン等を産生する筋線維芽細胞である。

細胞老化した筋線維芽細胞は、線維化を伴う様々な加齢関連慢性炎症疾患の元凶となっている。

## 目的方法

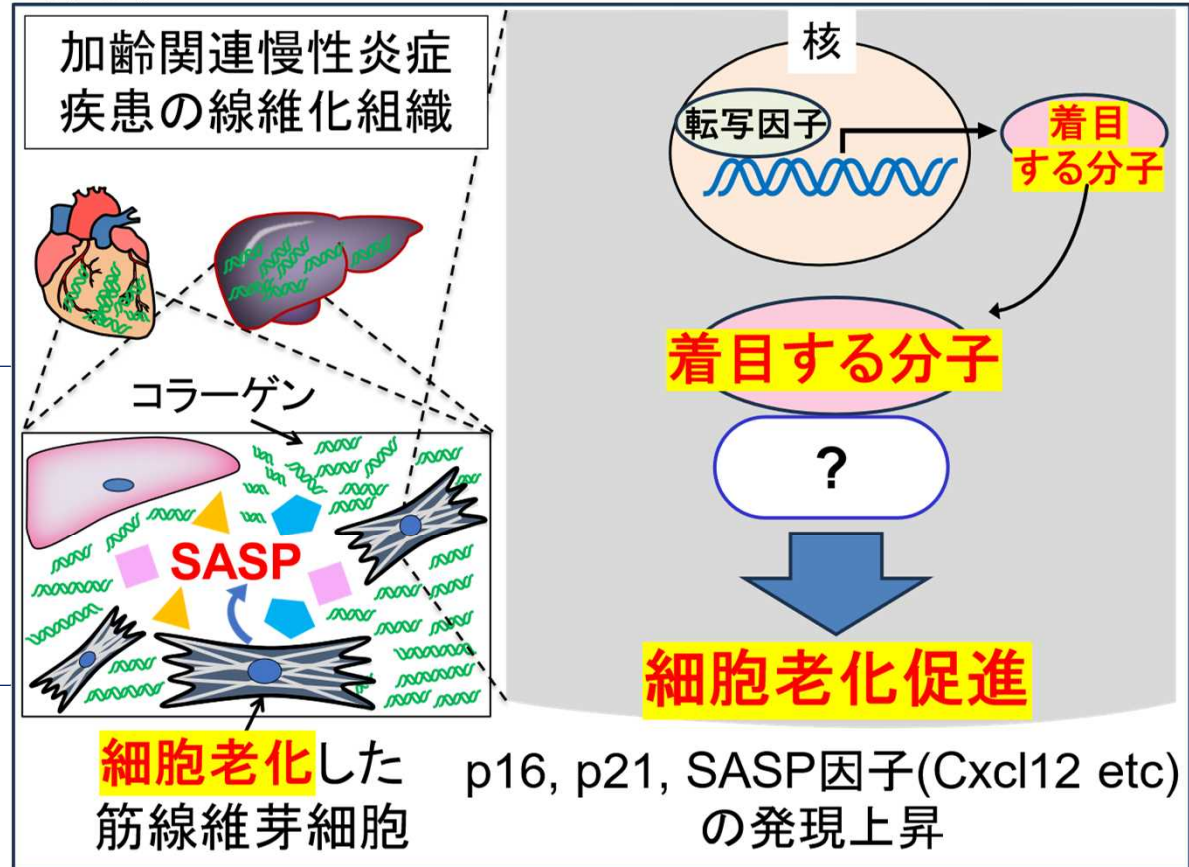
筋線維芽細胞の細胞老化促進機構に関与する可能性を見出している分子に着目してその関与メカニズムをin vivo, in vitroの両面から明らかにする。

## 基礎的到達

着目する分子を介した、筋線維芽細胞の細胞老化促進機構を解明する。

## 医療への展開

解明した筋線維芽細胞の細胞老化促進機構を標的とした老化関連慢性炎症疾患の新しい治療法開発を目指す。



加齢関連慢性炎症疾患治療への応用